



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2009年11月10日

LOJAPR09/25-No. 147

プレスリリース

最貧国は依然高い食料価格に苦しんでいる 食料不安がある31カ国が緊急支援を必要としている

2009年11月10日、ローマ - 貧しい食料純輸入国の食料価格は、2009年の世界の穀物生産が良好であったにもかかわらず、依然として高い、とFAOは10日発表した最新の報告書「[Crop Prospects and Food Situation](#) (穀物見通しと食料事情)」で警告した。

この報告書は、ローマで11月16日－18日に開催される食料安全保障に関する世界サミットに先駆けて発表されたものである。

危機的な食料不安が31カ国に影響を与え、それらの国では緊急支援を必要としている。東アフリカでは、干ばつと紛争で推定2,000万人が食料支援が必要という特に深刻な状況である。

食料の国際価格は数年前のピークより大幅に下落したものの、小麦とトウモロコシの価格は10月に上がり、コメの輸出価格は危機前の水準より大幅に高い、とFAOは述べた。

貧しい人にとって食料危機は終わっていない

「家計の最大80%までを食料に費やす世界の最も貧しい人々にとって、食料価格危機はまだ終わっていない」、とハフェズ・ガネムFAO局長は述べた。「貧困及び飢餓と闘うために開発途上国農業への投資を増加することは、今や世界的な優先事項である。」

FAOは、ローマ本部で2009年11月16－18日に「飢餓サミット」を主催する。サミットの目的は、貧しい国の農業開発に対する公共及び民間の投資増加に焦点を当てた即時の飢餓削減に対する基本的合意を確保することである。

西アフリカにおける穀物生産の落ち込み

西アフリカでは、2009年の穀物生産は、昨年の豊作に比べ減少する見込みである。平均以下の降雨のために、西アフリカの多くの地域で再度植え付けが必要となり、マリ、チャド及びニジェールで家畜の損失につながった、と報告書は述べた。この地域の穀物価格は、食料価格危機以前の2年前の水準をはるかに上回っている。

例えばマリの首都バマコ、ブルキナファソのワガドゥグー及びニジェールのニアメの市場におけるミレットは、それぞれ 2007 年の同時期に比べ 35%、42%、21% 高かった。

輸入米は 22 - 46% 高かった。また、FAO は、ナイジェリアにおける穀物生産の減少見込みが西アフリカにおける新たな穀物価格の上昇につながる可能性があると警告している。

東アフリカにおける憂慮すべき状況

東アフリカでは、いくつかの地域における降雨不足による農作物及び牧草の不作、紛争の増加、貿易の混乱及び食料価格上昇の継続により、状況は非常に憂慮すべきものとなっている。例えばケニアのトウモロコシ生産は、昨年に比べ 30% 減小と見込まれている。

主に牧畜及び限界的な農業地域に暮らす約 380 万人のケニア人が、著しい又は極度の食料不安に直面していると推定されている。エチオピアでは、救援食料物資を必要とする人の数が、5 月の 530 万人から 10 月には 620 万人に増加した。

ウガンダでは、およそ 110 万人が食料援助を必要としている。南部スーダン及びダルフルでは、内紛の継続により、すでに何百人が直面している悲惨な食料安全保障の状況が悪化している。約 590 万人が食料支援を必要していると推定されている。

北アフリカの豊作

南部アフリカでは、2009 年の良好な穀物生産にもかかわらず、食料価格の上昇は依然いくつかの国で続き、食料安全保障に影響を与えている、と FAO は述べた。

北アフリカでは、小麦総生産は干ばつの悪影響を受けた 2008 年の 1,430 万トンに比べ、史上最高の 2,150 万トンに達する見込みである。

アジアでは、2009 年のコメ生産見通しは、コメの主要生産国であるインドにおける不規則なモンスーン降雨や、日本、韓国、ラオス及びスリランカを含むその他のいくつかの国の自然災害により、7 月から悪化した。

FAO は、報告書「穀物見通しと食料事情」を 3 カ月に 1 回作成している。

英文 URL: <http://www.fao.org/news/story/en/item/37127/icode/>

Crop Prospects and Food Situation (穀物見通しと食料事情)

<http://www.fao.org/docrep/012/ai484e/ai484e00.htm>